

広報 すずらん

発行日：2023年10月1日（創刊：1996年/平成8年）

発行元：社会福祉法人すずらの会 理事長 松屋 直人 URL: <http://www.suzuran.or.jp>

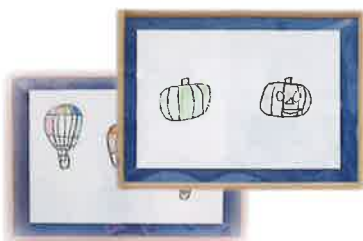
所在地：〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台7-6-4 TEL: 042-745-8080

編集：広報委員会

第89号

2023年10月

～Pure Heart（ピュアハート）作品展 2023 開催～



毎年恒例となっているピュアハート作品展ですが、7月24日から7月31日まで利用者の皆様の作品を展示しました。今年もたくさんの素晴らしい作品が寄せられました。本来ならば、出展した作品をすべて紹介させていただきたいところですが、今回はその作品の中から、ワークショップ・SUNの関日朗さんの素敵な作品を紹介させていただきます。

まずは、ピュアハート作品展に出展した作品について、関さんにオンラインでインタビューさせていただきました。その内容を紹介します。

・ピュアハート作品展には絵を毎年出していますか？

関さん「はい。」

・何を参考にして描きましたか？動画ですか？写真ですか？絵ですか？

関さん「写真見て。」

お母様「パソコンの画像や絵を見て描きます。」

・絵はどこで描いていますか？家ですか？職場ですか？

関さん「家です。」

お母様「週1回通っている、個別塾で描いたものです。」

・絵を描いている時は、楽しいですか？集中していますか？嬉しいですか？悲しいですか？

関さん「楽しい。」

・絵を描くのは好きですか？嫌いですか？

関さん「好きです。」



関さんは、オンラインのインタビューに緊張した様子でしたが、「絵を描いている時はどんな気持ちですか？」という質問に答えている時の表情は、とてもニコニコしていました。その表情からは、「絵を描くことが好き」ということが伝わってきました。

お母様からは「個別塾（発達支援教室）に3歳から通っていて、沢山の絵を描いてきました。小さい頃は先生の指導のまま描いていた所もありましたが、だんだん個性を発揮するようになりました。うまく描けるとうれしそうです。」とのお話を伺いました。

小さい頃から習い事をやり続けていることで、ご本人の自信につながっているようでした。また、大人になった今では“絵を描くことが楽しい”とおっしゃっており、人生の楽しみの一つになっていると感じました。

今後も素敵な絵を描き続けて欲しいです。そして、毎年ピュアハート作品展に出展していただいて、関さんの素敵な絵を沢山の皆さまに見に来て欲しいと思いました。



ワークショップ・SUN 横山が表彰されました！

スリーエムジャパン相模原工場の出荷額向上に対する多大な貢献が認められ、作業を請け負っているワークショップ・SUN 横山が TVOS 貢献賞（工場出荷額増加貢献賞）を受賞しました。河合事業所長より、感謝状と副賞（20,000 円）が送られました。日々のがんばりが認められ、利用者の皆さんも嬉しそうでした。これからも貢献できるよう努めてまいります。ありがとうございました。



余暇サークルが再開しました

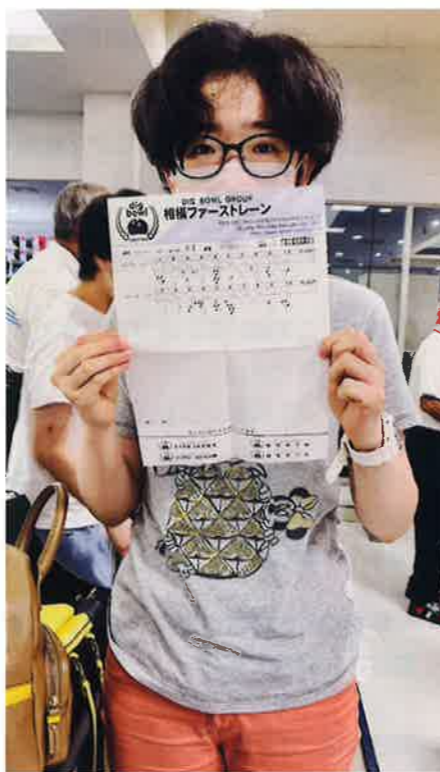
コロナ禍で中止となっていた余暇サークルですが、2023年5月からコロナウイルスが5類に移行したことに伴い、余暇サークルも感染防止対策をとりながら再開しました。今回は、再開後の余暇サークル（ボウリング）の様子を紹介とともに、当法人の余暇支援委員会の取り組みについてご紹介します。



みんなで応援します。
とっても楽しそう！



グループのみんなで見守ります。



参加者同士で、話も弾んでいるようです。

ご紹介したボウリングサークルに参加された方に、お話を伺いました。



久しぶりのボウリングはとっても楽しいです。ボウリングが久しぶりに出来るようになったのも嬉しいですが、職員の方々にも久しぶりに会うことが出来て、それがとても嬉しいです。また参加したいです。



すずらの会 余暇サークル一覧

- 第1土曜日…ゴルフ・華道
- 第2土曜日…ボウリング
- 第3土曜日…美術・ダンス
- 第4土曜日…ティーボール・サウンドタイム・書道



すずらの会では横断的な10の委員会組織があり、利用者支援の充実や職員の資質向上を目的とした委員会など、法人内職員で組織されています。今回は余暇支援委員会の委員長を務める齋藤職員にインタビューを行いました。

Q 余暇支援委員会はどのような目的で、どのような活動を行っていますか？

余暇支援活動事務局をサポートし、法人全体としての取り組みである余暇活動の向上と円滑な推進を図ることを目的として活動をしています。
活動内容としては、委員会メンバーが各活動に『配置職員』として巡回し、様子や課題等を把握したうえで、活動の充実や課題改善等に向けた対応の検討をします。また、年に2回、余暇レターを発行し、利用者の皆様や保護者、地域の方々などに向けて余暇支援活動の広報を行っています。最後に、年に1回、ボランティア交流会を実施し、余暇活動の講師、ボランティアと直接顔を合わせて、ニーズの聞き取りや活動内容の共有などを行っています。

Q. コロナ禍以降行った対応を教えてください。また、対応の中で苦慮した点がありますか？

各サークルの会場は地域の施設をお借りしている為、コロナ禍以降はまずその施設のルールに則って活動を行いました。また、各サークルで参加人数の上限を決めて実施しています。申し込みの際に人数の上限を超えた場合は、参加多数の事業所内で人数調整を依頼しています。

また、検温や消毒など基本的な感染対策を講じたうえで活動しています。検温や消毒の為に必要な物品は委員会で購入し、参加者の方々ができるかぎり安心して活動できるよう努めています。

緊急事態宣言下等、感染が著しく拡大していた期間は、やむを得ず余暇活動を中止していました。飲食を伴う料理サークルや、室内に参加者が密集するカラオケサークルなど、可能な限り実施できる方法を検討しましたがやむを得ず実施延期や廃止となったサークルもあります。

Q. 2023年5月から余暇活動が再開しました。再開後の参加者の方々の様子はいかがですか。

各サークル、再開後から多くの利用者の方・就労者の方に参加していただいております。活動再開を待ちわびていた方が多くいらったことを改めて感じました。講師の方やボランティアの方々からも活動再開できてよかったとお声を多くいただいております。また、再開後から新しく余暇サークルに参加されている方もおり、どのサークルにもぎわっていると感じています。

Q. 今後の展望など、教えてください。

余暇支援委員会では常に皆さんが安心して楽しめる活動を大切にしています。今後も、参加者の皆さんが安心して楽しく参加できる活動を提供したり、講師・ボランティアの方々により良い環境下で活動ができるように努めていきます。

よろしくお祈りします



余暇サークルの実施については今後もコロナウイルスの感染状況を注視しながら感染対策を講じていきます。今後も皆様のご協力をお願いいたします。

編集後記

余暇の充実、利用者の方々にとって重要だと改めて感じました。今後も、皆さんそれぞれの余暇が充実したものになる様、法人としても取り組んでいきたいと思っております。(編集：広報委員)

